

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名称	浜田市木田暮らしの学校
指定管理者	名 称 木田地区振興協議会 代 表 者 会長 今田 泰 住 所 浜田市旭町木田488番地
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運營業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地検査、指定管理者へのヒアリング等により行いました。 その後、事業計画書に示された項目などを基準に具体的な業務の履行状況等についてチェックシートを用いて確認し、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」等を記入しました。
担当部署 (問合せ先)	部 署 名 旭支所 産業建設課 産業振興係 電話番号 0855-45-1437 E-mail a-sangyou@city.hamada.lg.jp
モニタリングの 総合コメント	木田暮らしの学校は、歴史的価値の高い木造施設を都市農村交流拠点施設として活用し、地域の活性化が図られることを目的に整備された施設です。平成28年度から指定管理者制度を導入し、木田地区振興協議会を指定管理者に指名し、管理運営を行っています。 関係法令、基本協定書等の規定に基づき適正に管理運営されています。季節に応じた体験イベントの開催、田植えや収穫も楽しめるもちつき体験やカフェの運営など、積極的に自主事業を展開し、適正な施設管理に努めています。 施設管理については、日常的な清掃などに加え、地元自治会や高齢者団体の協力を得て、周辺の草刈、施設内の清掃が行われています。 施設利用については、グラウンドゴルフやバレーボールなど定期的な利用が増えたこともあり、増加しました。 以上のことから、総合的に判断し「概ね適正である」と評価します。
今後の業務改善 に向けた考え方	「木田暮らしの学校」の名称は、地域の伝統文化や技術、風習など「木田の暮らし」そのものを継承する場としての意味合いを持っており、その目的の達成のためには多くの木田地区の住民の協力が必要不可欠といえます。しかしながら、現在は限られた構成員で取り組まれており、そのことが活動の大きな負担にも繋がっています。 受け皿となる地域住民が減少傾向にある中で活動を維持していくためには、一人一人の負担を減らしながら持続可能な活動を検討する必要があると考えます。

1 基本的な考え方
① 目的達成、公平性、効果等への所見 木田地区振興協議会は、木田地区における都市農村共生・対流による地域活性化を図ることを目的として設立されており、地区まちづくり推進委員会、木田小学校後利用検討委員会、旭温泉ふるさと伝授道場、旭温泉旅館組合などの地元委員に加え、旭支所防災自治課及び産業建設課も会員として構成されています。 当施設の地域との結びつきについて精通しており、地域コミュニティの発展や地域の活性化に寄与していると認められます。
2 業務内容
① 事業への具体的な取り組み方について ひなまつりや雑巾がけタイムトライアルの開催、田植えから始めるもちつき体験など地域資源を活かした事業が年間を通じて開催されており、事業を通じて地域住民と地域外の方との交流が良好に行われています。
② 施設の運営体制や組織について 協議会内に「楽しむ」「儲ける」「守り伝える」の3部会を設置し、それぞれの目的達成のために計画を立て、実施については協議会全体で取り組むことで効率的に運営されています。
③ 適切な事務や経理について 施設の利用に関する事務については、条例等に沿って適正に処理されています。 経理事務については、担当者により適正に処理され、会計報告されています。
④ 安全管理、情報管理、緊急時等の対応について 危機管理マニュアルが整備されており、施設・設備の保守点検も適正に実施されています。 また、個人情報についても適正に管理され、構成員に対しての指導も行われていると認められます。
⑤ その他業務内容について 特になし。
3 事業収支
① 収入確保や経費節減の取り組み、収支のバランスについて 体験交流活動やイベントでの売上げ等、自主財源が確保されており、収支バランスも良く運営されています。

施設概要調書

令和元年度

1 施設概要

施設名	浜田市木田暮らしの学校	
所在地	浜田市旭町木田485番地	
開設年月	平成28年4月(昭和11年12月築)	
設置条例	浜田市木田暮らしの学校条例	
設置目的	歴史的価値を有する木造校舎を活用し、農業等の地域産業と連携した交流事業を行うことにより、地域コミュニティの発展を図り、もって地域の活性化に資する。	
施設の概要	敷地面積	7,741.00㎡
	延床面積	1,692.00㎡
	施設内容	体育館 校舎 運動場
	事業内容	① 地域産業と連携した交流事業 ② 地域の文化品等の展示 ③ 地域食材等を活用した飲食の提供 ④ 交流、研修等を行うための施設の提供 ⑤ その他暮らしの学校の設置の目的を達成するために必要な事業
公共施設再配置実施計画の方針		廃止(耐用年数経過後)

2 運営状況

(単位:日)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
開館日数	359	359	360	360	-	-
開館時間	8:30～22:00	8:30～22:00	8:30～22:00	8:30～22:00	-	-

3 利用実績

(単位:件、人)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
利用件数	11	21	20	137	652.4%	685.0%
延べ利用者数	392	318	400	1,774	557.9%	443.5%

4 事業収支

収入

(単位:円)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
前期繰越金	0	315,729	0	472,464	149.6%	—
利用料金収入	148,750	71,800	50,000	91,626	127.6%	183.3%
指定管理料	950,000	950,000	959,000	959,000	100.9%	100.0%
カフェ売上	137,990	64,800	0	10,000	15.4%	—
体験交流参加料	112,200	70,400	0	0	0.0%	—
イベント売上	115,100	27,500	200,000	130,200	473.5%	65.1%
もち米販売売上	66,000	49,530	0	0	0.0%	—
木田小ファンズ会費	0	0	0	0	—	—
備品貸し出し収入	0	1,500	0	1,500	100.0%	—
その他補助金	173,329	54,726	0	0	0.0%	—
その他収入	38,216	240,585	300,000	5,514	2.3%	1.8%
収入計(A)	1,741,585	1,846,570	1,509,000	1,670,304	90.5%	110.7%

支出

(単位:円)

項目	H29実績	H30実績	R1計画	R1実績	前年度対比	計画対比
消耗品費	23,438	17,388	20,000	8,589	49.4%	42.9%
燃料費	17,951	0	10,000	0	—	0.0%
印刷製本費	8,426	0	10,000	0	—	0.0%
光熱水費	645,356	646,296	650,000	638,352	98.8%	98.2%
修繕料	78,646	0	100,000	149,820	—	149.8%
CATV受信料	69,984	69,984	50,000	70,740	101.1%	141.5%
電話代	56,003	43,700	50,000	43,333	99.2%	86.7%
NHK受信料	0	0	0	13,990	—	—
委託料(消防設備)	64,800	64,800	100,000	65,400	100.9%	65.4%
材料費		97,729	0	107,901	110.4%	—
備品等	21,831	303,254	0	8,963	3.0%	—
イベント・カフェ運営費	386,536	0	180,000	0	—	0.0%
日当		63,059	20,000	52,000	82.5%	260.0%
その他	52,885	67,896	300,000	22,585	33.3%	7.5%
支出計(B)	1,425,856	1,374,106	1,490,000	1,181,673	86.0%	79.3%

収支差引(A-B)	315,729	472,464	19,000	488,631		
-----------	---------	---------	--------	---------	--	--